

昨年末にリフォームのご相談を頂きました。ある住宅販売メーカーが建てた建物で施主様が「部屋が寒い」「床が冷たい」ということで、合板のフローリングを無垢材に張替え、壁には珪藻土を使用して仕上げはどうかとご提案しました。

また、T邸ではフローリングが接着剤のはく離りによって沈むようになり、KCCに張替え工事を依頼していただきました。合板のフローリングを無垢材に張り替えたところ、木のぬくもりを感じられて気持ちがいとおと大変喜ばれました。

さて、昭和40年代の住宅ブームに大手建材メーカーが生産した新建材なるものが売り出されました。

新建材を床材に使用してみると、価格は安く、加工が簡単、見た目もきれいということまで住宅メーカーはこぞって使用しました。しかし、実際はベニヤ板に木材の単板を貼りつけ着色したもの(合板)を接着剤で貼り付けるのです。

安くて・簡単で・きれいな新建材は、施工者にとっては利益があるけれど、住まう人の事情は全く考えていないのです。合板を貼り付ける接着剤にはホルムアルデヒドが含まれ、シックハウス症候群の原因にもなりました。

合板の床は冷たく、体の熱を奪っていき、体の芯から冷えてしまいます。室内の暖房のほかに、カーペットやスリッパで寒さ対策をしなければ過ごせないなんておかしいものです。

※フローリング、(Flooring)とは、床を覆うための木質系の素材。また、その素材を使った床を限定的に意味する和製英語なのです。英語のFlooringは単に『床材』という意味なので、和室の畳も英語ではFlooringになるのです。

## 足が冷たくなならない フローリング

### 無垢材のフローリングは

- 樹木の天然成分であるフィトンチッドがアトピー、アレルギーの原因の一つのダニやカビの発生を抑えます。
  - 天然木は使い込むほどに愛着が湧き、時間が経つにつれて、あめ色にかわり味わいが深くなっていきます。
  - 適度なメンテナンスがあれば、半永久的に使用することができます。
  - 天然の木材には調湿機能があります。
  - **無垢材は、繊維の間に空気を含んでいて熱伝導率が小さいので、一度あたたまると冷えにくく、室内の温度を一定に保ってくれます。**
  - 自然素材は、断熱性が高く保湿性もあります。
  - 無垢材でしか味わえない優しい肌触りや歩行感があります。
- など、人と環境にやさしいのです。住まう人の健康を第一に考えるのなら、無垢材ですね。



#### 無垢材のフローリングのお手入れは

- 日常のお手入れは、カラ拭きだけです。
- 水をこぼした際には乾いた布で速やかに拭き取ってください。
- ワックス掛けは2~3ヶ月に1回程度、油性または水性(樹脂製でも可)の木質フローリング用をお使いください。
- 止むを得ず水拭きする場合には、固く絞った雑巾で行なってください。
- 出入り口などの埃、水気の多い所には、必ず防塵マット等をご使用ください。
- 木質床材にはホットカーペット、湿風ヒーター、ストーブなどの熱が直接当たるような使い方は目録や表面割れを引き起こすことがありますので、避けてください。これらを使用される場合は断熱性の高いマットを敷いて、ご使用下さい。(断熱マットは家電販売店で求められます。)

### 支え合う協同組合

どこの世界でも後継者問題が深刻になっていますが、建築業界もご他聞にもれませぬ。仕事の先行きに不安を覚えて、後継者を作らない大工さん・工務店さんもいます。不況のあおりで廃業する業者など身近な大工さん・工務店さんの看板はどんどん減っていき、職人と呼ばれた人達がサラリーマンになっていきます。

小さな工事やちよつとした増改築など気軽に相談できるところがないので、結果、リフォーム詐欺にあつてしまう方が後をたちませぬ。

KCCは地域の職人さんが幅広く結集して事業を行う協同組合です。昨年不況の中にあつて一事業者では乗り切れなかつたかもしれない荒波も、互いに協力しあい、知恵を出し合いながらいくぐつてこられました。組合員には高齢の方もいれば、若い人もいます。これからも職人の輪を広げて支えあいながら、皆さまに気軽に声をかけていただける身近な工務店でありたいと思います。

### 樹の丘まつり開催

昨年10月25日、樹の丘まつりが催され当組合員及び主婦の会の人たちのお手伝いで、餅つきやヤキソバ造りを行いました。お年寄りや小さいお子さんを含め、家族ぐるみのにぎやかなイベントになりました。

毎年のことですが、日本人でなんでこんなに「もち」が好きなのかと不思議です。